

令和4年度 小平市立小平第十三小学校 学校評価計画表					
学校教育目標		21世紀をたくましく生きる子どもたちを育てることを目指し、以下の教育目標を設定する。 ◎自ら考え行動する子ども(重点目標)・仲良く助け合う子ども・明るく元気な子ども			
目指す学校像(ビジョン)					
【目指す学校像】		子どもたちのみならず、教職員、保護者、地域社会が、「自ら学び、他と共に」を共有し、自己の向上を求め続ける学校。			
【目指す児童・生徒像】		自ら学び、他と共に生きる子ども			
【目指す教員像】		自ら考え行動し、常に研鑽を積み、自己の向上を求め続ける教職員			
前年度までの学校経営上の成果と課題					
【成果】教職員が丸となって「健全育成」と「児童理解」に取り組んできたことにより、児童にとって居心地のよい学級・学校を実現できた。					
【課題】基礎的・基本的な学力の定着及び、知識や技能を活用し、学習者用端末を有効に活用しながら工夫して課題解決を行うことで、基礎的・基本的な内容の定着を図る。					
	中期経営目標	短期経営目標	具体的方策	取組指標	成果指標
学力向上	児童が「自ら」「他と共に」学ぶ授業を推進するとともに、基礎的・基本的な内容の確実な定着を図る。	各学年の発達段階に応じた「自ら」「他と共に」学ぶ授業を推進するとともに、学習者用端末を積極的に活用する。	①ホワイトボードの活用 ②児童が相互に学び合い高め合う授業の日常的な実践。 ③学習者用端末を中心としたICT教育機器の活用と研修の充実 ④授業アンケートの実施	4 教職員の取組評価で、肯定的回答90%以上	4 保護者・地域アンケートの「学力向上」の項目で肯定的回答率100%
		地域や家庭の協力を得ながら日々の授業を充実させ、基礎的・基本的な内容の定着と徹底を図る。	①「はい、立つ、です」の徹底 ②学習補助員の活用と個別指導 ③東京ベーシック・ドリルの活用 ④習熟度別によるきめ細かい算数科の指導 ⑤家庭学習の実施と充実(低学年30分 上学年10分×学年)	3 教職員の取組評価で、肯定的回答80%以上90%未満	3 保護者・地域アンケートの「学力向上」の項目で肯定的回答率80%以上
				2 教職員の取組評価で、肯定的回答70%以上80%未満	2 保護者・地域アンケートの「学力向上」の項目で肯定的回答率70%以上
健全育成(いじめ防止)	「他と共に」の意識を涵養すると共に、共に認め合い高め合う児童の姿が日常的に見られる学校づくりを推進する。	いじめの未然防止と早期発見・早期対応に取り組み、根絶を図る。	①ふれあいアンケートの実施と分析 ②いじめ防止にかかわる道徳授業の実施(年3回以上) ③いじめ防止校内委員会の充実 ④生活のきまりの活用 ⑤あいさつ運動の実施 ⑥サポート会議の活用 ⑦委員会・クラブ・たてわり班活動の充実 ⑧年間1000回以上の学校ホームページ更新	1 教職員の取組評価で、肯定的回答70%未満	1 保護者・地域アンケートの「学力向上」の項目で肯定的回答率70%未満
				4 教職員の取組評価で、肯定的回答90%以上	4 保護者・地域アンケートの「健全育成」の項目で肯定的回答率100%
				3 教職員の取組評価で、肯定的回答80%以上90%未満	3 保護者・地域アンケートの「健全育成」の項目で肯定的回答率80%以上
				2 教職員の取組評価で、肯定的回答70%以上80%未満	2 保護者・地域アンケートの「健全育成」の項目で肯定的回答率70%以上
				1 教職員の取組評価で、肯定的回答70%未満	1 保護者・地域アンケートの「健全育成」の項目で肯定的回答率70%未満
特別支援教育	一人一人の児童のよさを伸ばし、個に応じた指導及び特別支援教育を推進する。	特別支援教育コーディネーターを中核として校内委員会の充実を図り、他の教員、機関等との組織的な対応を推進する。	①特別支援教室の効果的運営 ②特別支援巡回指導の活用 ③個別指導計画の作成と活用 ④特別支援校内委員会の効率的な運営 ⑤こげら支援シートの活用 ⑥児童一人一人の正確な見取り ⑦児童が学習に集中できる環境の整備(ホワイトボードの活用、教室前面の掲示板等)	4 教職員の取組評価で、肯定的回答90%以上	4 保護者・地域アンケートの「特別支援教育」の項目で肯定的回答率100%
				3 教職員の取組評価で、肯定的回答80%以上90%未満	3 保護者・地域アンケートの「特別支援教育」の項目で肯定的回答率80%以上
				2 教職員の取組評価で、肯定的回答70%以上80%未満	2 保護者・地域アンケートの「特別支援教育」の項目で肯定的回答率70%以上
				1 教職員の取組評価で、肯定的回答70%未満	1 保護者・地域アンケートの「特別支援教育」の項目で肯定的回答率70%未満
体力の向上	運動に親しむ態度を養うとともに、健康の保持増進と体力の向上を図る。	芝生の校庭での活動を充実させ、「運動好きの子ども」の育成を図る。 感染症対策における情報交換を日常的に行い、免疫力を高める指導を徹底する。	①休み時間の校庭での活動計画 ②なわとびやマラソンの実施と取組強化 ③裸足の運動会の実施に向けた取組の充実 ④体力テストの結果を基にした体育の指導の工夫 ①感染症対策の理解と実践の徹底 ②「早起き、早寝、朝ご飯」の啓発活動 ③基本的な生活習慣の確立 ④栄養士と学級担任による食育の授業	4 教職員の取組評価で、肯定的回答90%以上	4 保護者・地域アンケートの「体力向上」の項目で肯定的回答率100%
				3 教職員の取組評価で、肯定的回答80%以上90%未満	3 保護者・地域アンケートの「体力向上」の項目で肯定的回答率80%以上
				2 教職員の取組評価で、肯定的回答70%以上80%未満	2 保護者・地域アンケートの「体力向上」の項目で肯定的回答率70%以上
				1 教職員の取組評価で、肯定的回答70%未満	1 保護者・地域アンケートの「体力向上」の項目で肯定的回答率70%未満
ライフ・ワーク・バランス	働き方を見直し、ライフ・ワーク・バランスのとれた健康的な教職員集団を目指す。	スクール・サポート・スタッフを活用した学校経営と、教職員自らが校務遂行の効率化を図る。	①C4thの積極的な活用 ②月2回の定時退勤日の設定 ③教員の年次有給休暇の15日取得 ④管理職の積極的な休暇取得 ⑤副校長補佐の計画的・積極的な活用 ⑥スクール・サポート・スタッフの計画的・積極的な活用 ⑦働き方改革に向けた、教員自らの目標設定と実践。	4 月の時間外勤務時間が55時間以下の教職員90%以上	4 ライフ・ワーク・バランスの改善があったと回答した教員が100%
				3 月の時間外勤務時間が55時間以下の教職員80%以上90%未満	3 ライフ・ワーク・バランスの改善があったと回答した教員が80%以上
				2 月の時間外勤務時間が55時間以下の教職員70%以上80%未満	2 ライフ・ワーク・バランスの改善があったと回答した教員が70%以上
				1 月の時間外勤務時間が55時間以下の教職員70%未満	1 ライフ・ワーク・バランスの改善があったと回答した教員が70%未満